



Little Players News

No. 184 2013年 7月

夏ですね。北海道の夏は短いですが、アウトドアを楽しんで下さい。

今年の発表会は9月8日（日）に決まりました。

紹介コーナー



♪ 今月もロシアの作曲家ストラヴィンスキー(1882～1971)の三大バレエ音楽についてお話ししたいと思います。

ペトルーシュカ

人間の心を持ってしまった わら人形の葛藤を描いた作品です。ペトリューシュカは、ロシア版のピノキオであり、悲しいことに、人間ではないのですが感情を持つようになり、人間に憧れています。ペトリューシュカは時々引きつったようにぎこちなく動き、人形の体の中に閉じ込められた苦しさの感情を伝えています。

「ペトルーシュカ」からの3楽章

「ペトルーシュカ」は、1911年にピアノ協奏曲として、作曲されました。その後、ショパン弾きとして知られるアルトゥール・ルービンシュタインが、ストラヴィンスキーに「私のために世界一難しい曲をかいてくれ」と依頼したことにより、1921年に「ペトリューシュカ」からピアノパートを中心に、3つの楽章に編曲されたものが、ピアノ独奏版です。この曲はピアノ独奏曲としては最高峰に難しい作品として知られていて、恐らくは、依頼したルービンシュタインでさえも弾けなかったのではないかとされていますが、さて、どうだったのでしょうか。しかし、現在のピアニストのレベルは昔に比べて格段に高くなっているようで、今では幸運にも、コンサートや録音で演奏を聴くことができます。10月の札幌コンサートホール Kitaraで行われる、医師でありピアニストでもある札幌在住の上杉春雄氏のリサイタルで演奏される予定ですので、みなさんも、足を運ばれてみてはいかがでしょうか？

この曲は「のだめカンタービレ」で一躍有名になった曲でもあります。覚えていますか？ マナドーナコンクールの本選に向かうバスの中で、のだめが楽譜と必死に向き合っていたその時に、「きょうの料理」のテーマ曲が流れてきたのですが、なんとコンクールの舞台でこの「きょうの料理」を思い出してしまい、第一楽章「ロシアの踊り」と混ざってしまいました。聴衆には大受けでしたが、流石にコンクールでは残念な結果となりました。

西川音楽教室

<http://soundwalking.com/>